

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 40 号

第 40 週(9月29日 ~ 10月 5日)

発行年月日:平成20年(2008年) 10月 9日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

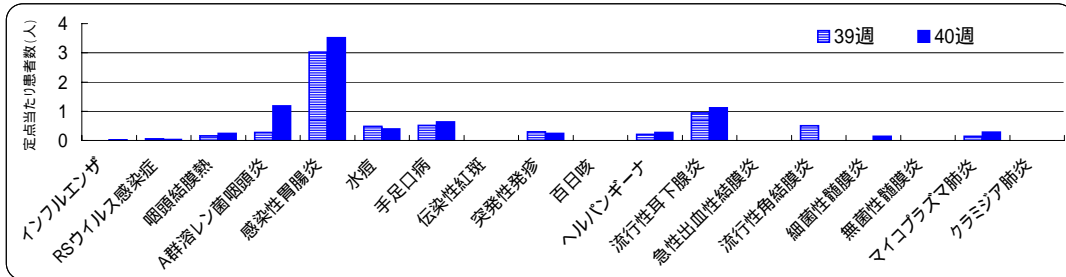
今シーズン初のインフルエンザの報告!! 腸管出血性大腸菌感染症の発生は49例

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりやや多くなっています。今週増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患は水痘、流行性角結膜炎等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。また、インフルエンザについては、今シーズン(2008/2009シーズン)になって初めて大津から報告され、報告時期は昨年より2週間早くなっています。

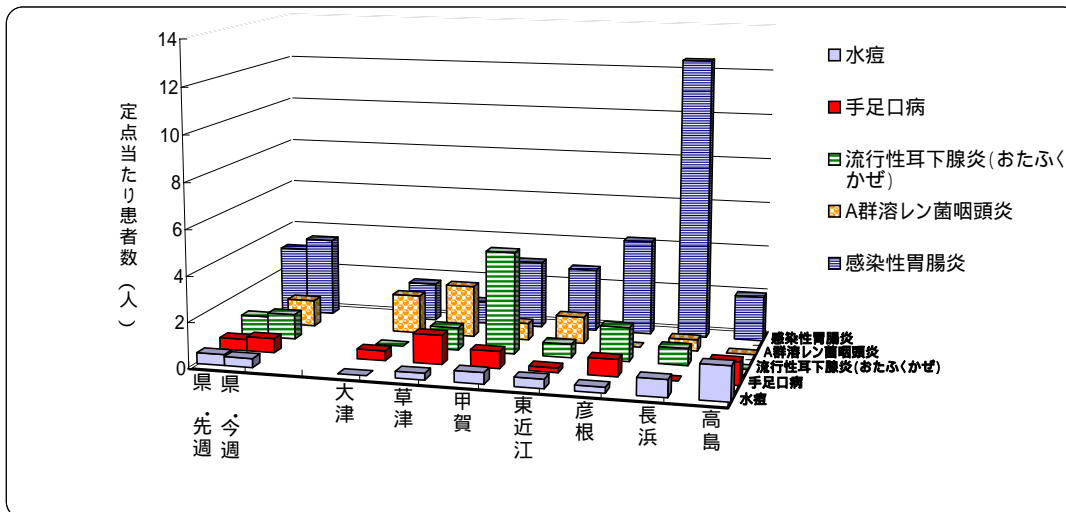
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況は、咽頭結膜熱(プール熱)では大津で警報発生基準値(0.1)を、流行性耳下腺炎では甲賀で注意報発生基準値(3.0)を超えています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名、三類感染症の細菌性赤痢で1名、腸管出血性大腸菌感染症で1名、五類感染症の後天性免疫不全症候群で1名およびバンコマイシン耐性腸球菌感染症で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第40週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、手足口病、水痘の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は長浜で、流行性耳下腺炎は甲賀で多くなっています。また、手足口病は草津および高島で、水痘は高島でやや多くなっています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (40週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (40週)	全国 (40週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	211	20,611	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	1	1	245	^{(*)2} 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	1	49	3,589	55	4,586
	パラチフス	0	0	25	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	34	1	54
	A型肝炎	0	3	145	1	154
	コクシジオイデス症	0	1	2	0	3
	デング熱	0	1	78	1	89
	マラリア	0	1	42	1	52
	レジオネラ症	0	9	690	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	0	6	657	15	781
	ウイルス性肝炎	0	3	176	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	116	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	97	1	96
	後天性免疫不全症候群	1	11	1,170	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	64	1	56
	梅毒	0	1	628	2	714
	破傷風	0	5	93	0	88
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	66	0	80
	急性脳炎	0	1	147	2	216
	風しん ^{(*)3}	0	2	277	-	-
	麻疹 ^{(*)3}	0	38	10,829	-	-

*1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第40週(9/29~10/5) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 21例
二類感染症: 結核 336例	A型肝炎 4例	劇症型溶血性
三類感染症: 細菌性赤痢 6例	Q熱 1例	レンサ球菌感染症 2例
腸管出血性	日本江斑熱 6例	バンコマイシン耐性
大腸菌感染症 74例	レジオネラ症 15例	腸球菌感染症 3例
腸チフス 4例	レプトスピラ症 2例	ウイルス性肝炎 3例
パラチフス 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 11例	急性脳炎 4例
四類感染症: デング熱 8例	ジアルジア症 1例	風しん 1例
マラリア 2例	梅毒 11例	麻疹 16例
オウム病 1例	破傷風 1例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第35~40週、8/25~10/5)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	35週		36週		37週		38週		39週		40週	
	(8/25~)	(9/1~)	(9/8~)	(9/15~)	(9/22~)	(9/29~)	36	37	38	39	40	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0.02						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0.06						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.24	0.33	0.42	0.24	0.15	0.24						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45	0.24	0.48	0.21	0.27	1.18						
感染性胃腸炎	3.58	3.67	4.06	3.21	3.03	3.52						
水痘	0.24	0.52	0.27	0.30	0.48	0.39						
手足口病	0.88	1.18	1.00	0.61	0.52	0.64						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0.09	0	0	0						
突発性風しん	0.52	0.55	0.64	0.39	0.30	0.24						
百日咳	0.15	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.58	0.73	0.70	0.33	0.21	0.27						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.24	0.97	1.52	0.88	0.94	1.12						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.13	0.25	0.13	0.13	0.50	0						
細菌性髄膜炎	0	0.29	0	0	0	0.14						
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.29	0.29	0.14	0.14	0.29						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

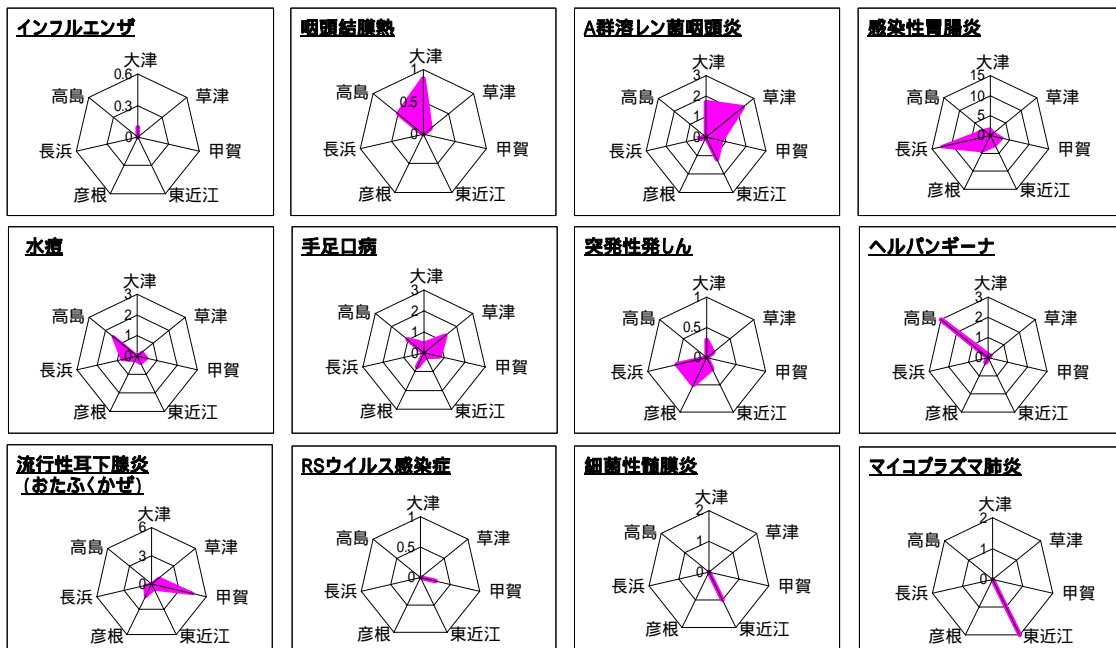
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第40週、9/29～10/5)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.02	0.09	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.24	0.86	0.14	0	0	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.18	1.71	2.29	0.75	1.20	0	0.50	0	
感染性胃腸炎	3.52	1.71	1.00	3.00	2.80	4.25	12.50	2.00	
水痘	0.39	0	0.29	0.50	0.40	0.25	0.75	1.50	
手足口病	0.64	0.43	1.29	0.75	0.20	0.75	0	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.24	0.29	0.14	0	0.20	0.50	0.50	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.27	0.14	0.14	0	0	0.25	0	3.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.12	0	1.00	4.50	0.60	1.50	0.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	2.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

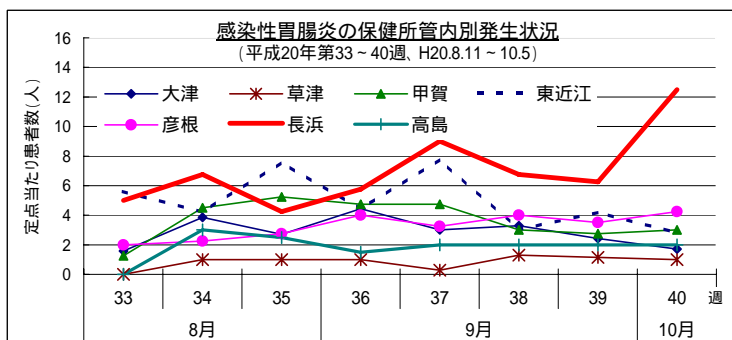
■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 1 2 3 4
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

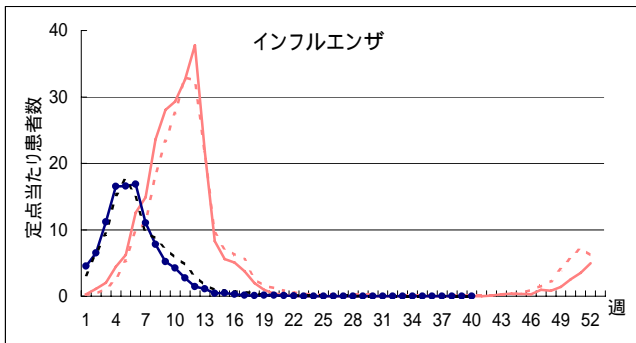


今週の発生状況： A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 先週よりかなり多くなり、特に大津および草津で急増しています。
 感染性胃腸炎----- 甲賀、彦根および長浜で先週より増加し、特に長浜では倍増しています。
 手足口病----- 高島では15週間ぶりに警報終息基準値(2.00)未満となっています。また、草津では先週よりかなり多くなっています。
 ヘルパンギーナ----- 県全体では先週より微増となっていますが、高島で急増しています。
 流行性耳下腺炎----- 甲賀の定点当たり患者数は4.50で、再び注意報開始基準値(3.00)を越えています。

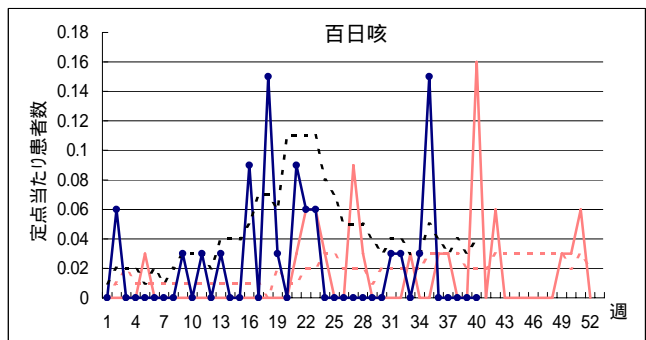
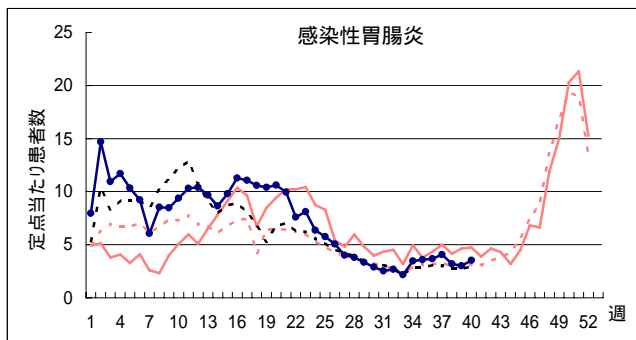
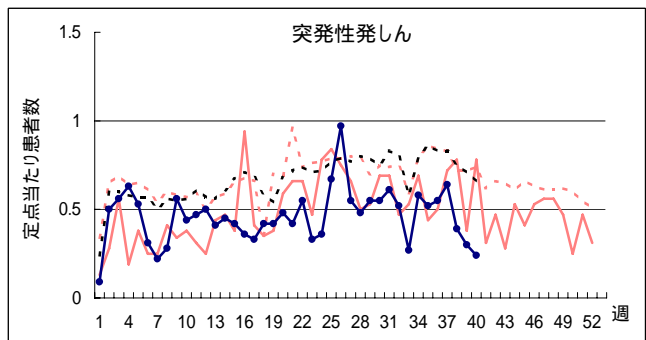
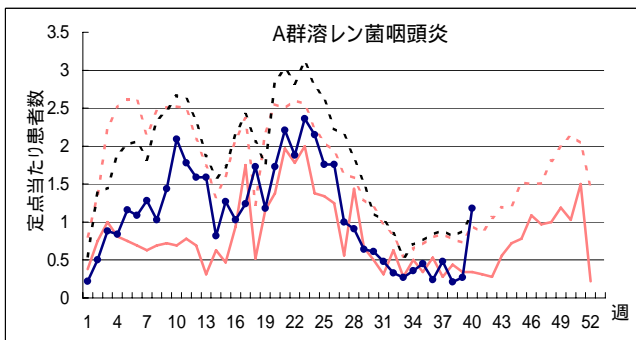
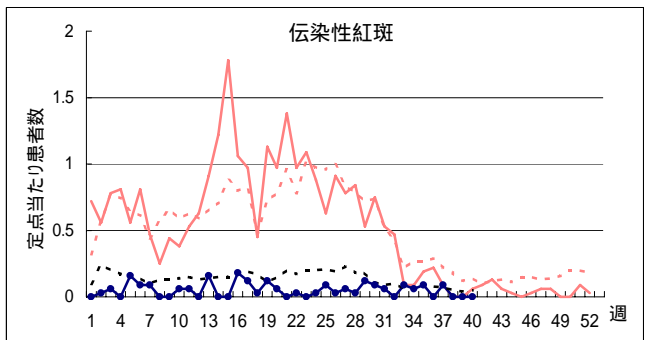
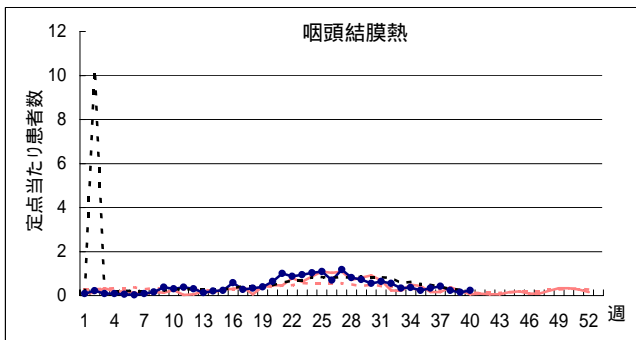
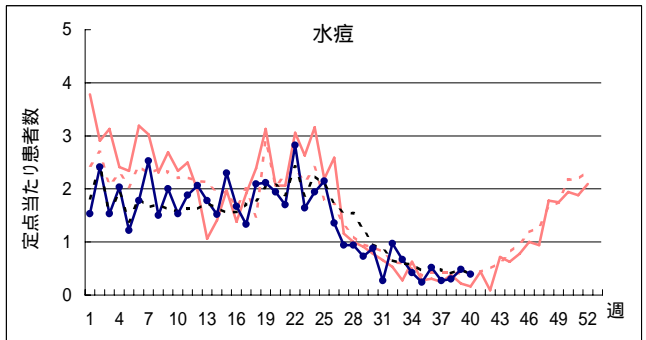
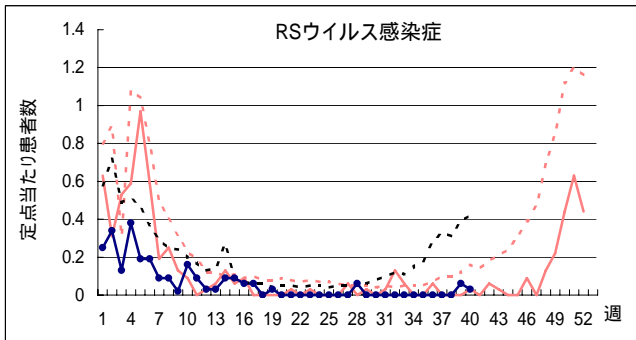


感染性胃腸炎の第33週以降の発生状況は左記のグラフに示すとおりです。
 長浜および東近江での発生が多くなっていますが、特に長浜で急増しています。今後の発生状況に十分に注意するとともに、感染予防に対する注意が必要です。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第40週、H19.12.31～H20.10.5)



H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第40週、H19.12.31～H20.10.5)

